



交付運用報告書

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド  
アジア通貨コース

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年8月11日～2023年2月10日

第131期 決算日：2022年9月12日 第132期 決算日：2022年10月11日

第133期 決算日：2022年11月10日 第134期 決算日：2022年12月12日

第135期 決算日：2023年1月10日 第136期 決算日：2023年2月10日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、アジア通貨で為替取引を行うことにより、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第136期末 2023.2.10

基準価額 3,611円

純資産総額 3,953百万円

第131期～第136期  
2022.8.11～2023.2.10

騰落率\* 5.7%

期中分配金合計 240円

\* 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>  
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル  
お問い合わせ先：リテール営業部

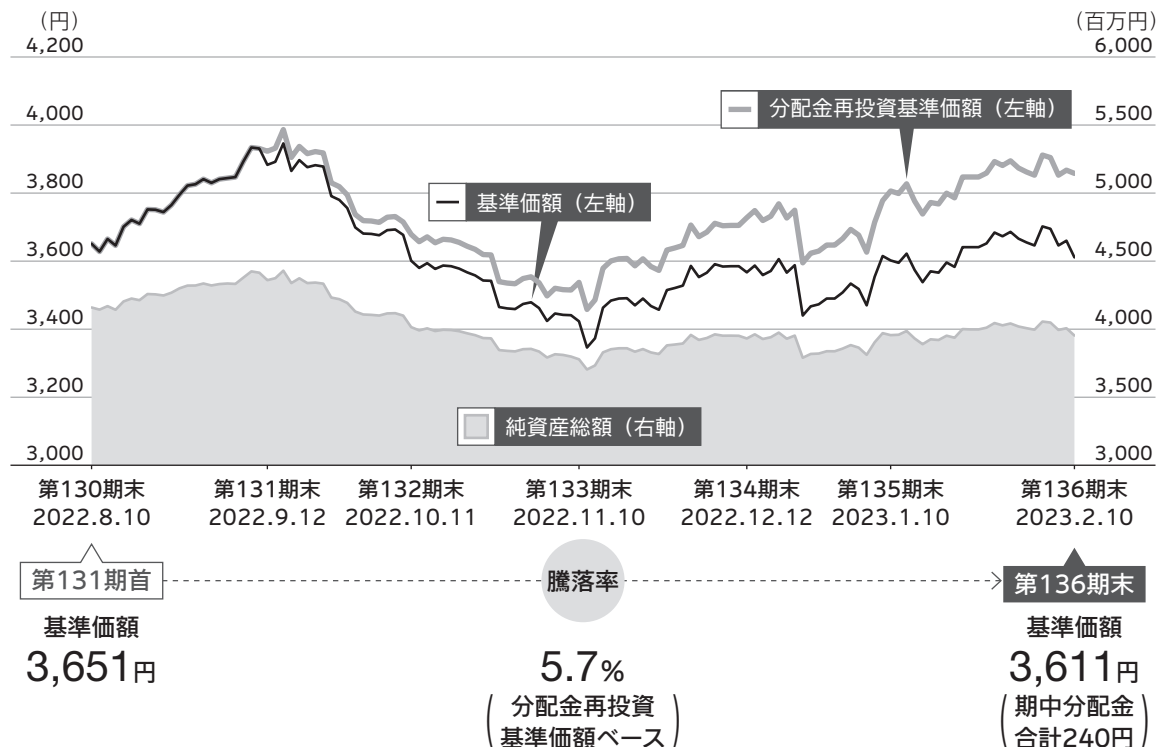
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

# 運用経過

## ● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス4)」は、ともに為替部分がマイナスに寄与した一方、債券部分がプラスに寄与した結果、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第131期～第136期 2022.8.11～2023.2.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	18円	0.510%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は3,621円です。
(投信会社)	( 8)	(0.211)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(10)	(0.283)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.010	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	( 0)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	18	0.520	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

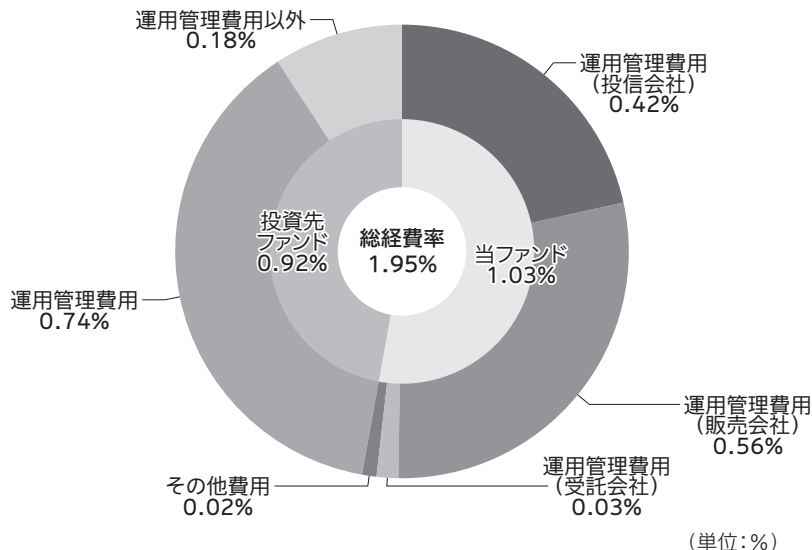
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.95%**です。



総経費率(①+②+③)	1.95
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18

注1. 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

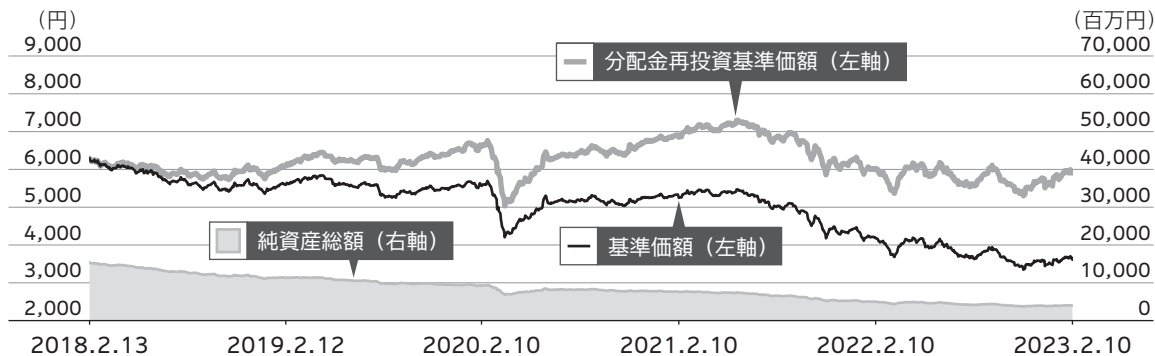
注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.2.13~2023.2.10



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年2月13日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.2.13 決算日	2019.2.12 決算日	2020.2.10 決算日	2021.2.10 決算日	2022.2.10 決算日	2023.2.10 決算日
基準価額 (円)	6,295	5,592	5,561	5,248	4,180	3,611
期中分配金合計（税引前）(円)	—	490	480	480	480	480
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.2	8.4	3.7	△ 12.0	△ 1.9
純資産総額 (百万円)	15,384	11,301	9,252	7,557	4,979	3,953

## ● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

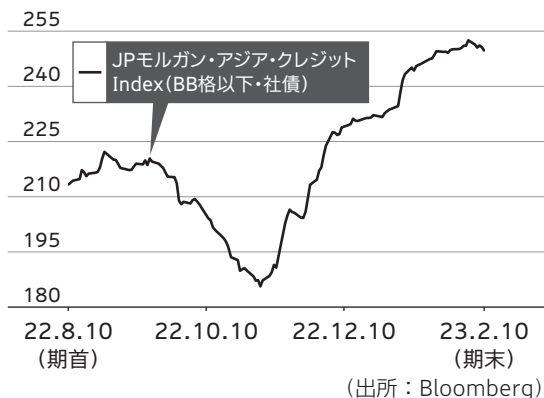
期前半は、米国の消費者物価指数が市場予想を上回る伸びとなり、FRB（米連邦準備理事会）による金融引き締め政策の長期化観測が高まったことから米国国債利回りが上昇（価格は下落）する中、クレジットスプレッドが拡大したことから、下落基調で推移しました。

2022年11月以降は、軟調な消費者物価指数を受けて米国の物価上昇がピークアウトしたとの観測が広がり、米国国債利回りが低下（価格は上昇）基調となったことに加えて、中国政府のゼロコロナ政策撤廃や不動産セクターへの支援拡大などを好感する形でクレジットスプレッドが縮小したことから、期末にかけて上昇しました。

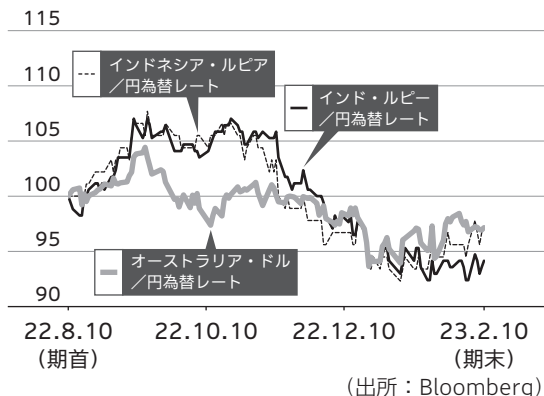
当期の為替市場は、FRBによる金融引き締め政策の長期化を織り込む形で2022年10月までは円安ドル高基調で推移しましたが、11月以降、FRBの大幅な利上げ観測が後退したことなどを背景に円高ドル安が進みました。

アジア通貨については、2022年11月以降、米ドルが対円で下落基調となる中、インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルについても対円で下落しました。

### 市況の推移



### 為替レートの推移



注1. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注2. 為替レートは期首を100として指数化しております。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に維持しました。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルは、いずれも対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルは、いずれも対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

### マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第131期 2022.8.11 } 2022.9.12	第132期 2022.9.13 } 2022.10.11	第133期 2022.10.12 } 2022.11.10	第134期 2022.11.11 } 2022.12.12	第135期 2022.12.13 } 2023.1.10	第136期 2023.1.11 } 2023.2.10
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	1.020%	1.099%	1.155%	1.109%	1.098%	1.096%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,789	6,801	6,811	6,822	6,833	6,843

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

**決算期毎にインカム収入<sup>※</sup>を中心に分配を行うことを目指すファンドです。**

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。



## ● 今後の運用方針

### りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

中国経済の早期回復に伴う観光客の増加や輸出支援などを通じて、アジア各国の経済への波及効果が期待されます。アジア社債市場のクレジットスプレッドは、アジア各国の経済および企業の堅調なファンダメンタルズを背景に当面堅調に推移する見通しです。当ファンドでは、市場動向を注視しながら、クレジットの質を重視するとともに、引き続き先行きの不透明な市場環境が続く見込みであることを考慮し、価格変動性が高い銘柄の組入れを抑制するなど、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。





### ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4）

FRBによる利上げペースの減速見通しや、中国政府のゼロコロナ政策撤廃や不動産セクターへの支援拡大などを背景にアジア債券市場への資金流入傾向が強まっており、足元のバリュエーションはやや割高となっていますが、クレジットスプレッドは当面堅調に推移する見通しです。また、より多くの発行体が市場へ参入し、市場の流動性も向上する見通しです。当ファンドにおいては、保有銘柄の価格下落リスクに配慮しつつ、企業の財務健全性や市場の流動性を注視しながら、引き続き銘柄選択に注力し、リスクを抑制したポートフォリオ運営を行う方針です。

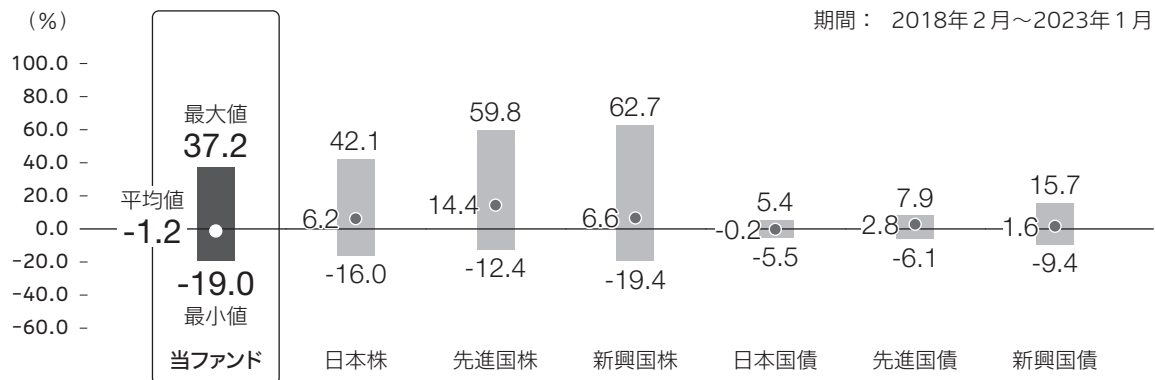
### マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

## ● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2011年9月30日から2026年8月10日まで
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
主要投資対象	 りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース 投資信託証券
	 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	 ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス4） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	 マネープールマザーファンド わが国の公社債等
運用方法	① 主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ② アジア通貨で為替取引を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

## ● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は18ページをご参照ください。

# 当該投資信託のデータ

## ● 当該投資信託の組入資産の内容

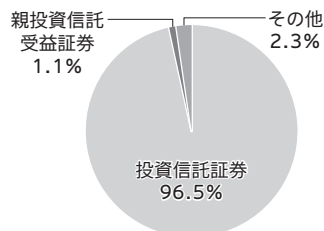
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 組入ファンド

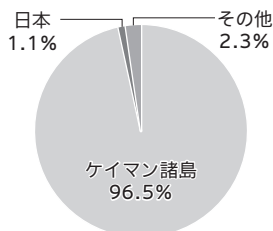
	第136期末 2023.2.10
NikkoAM Asia Investment Series- NikkoAM AsiaHighYieldBondFund IV	76.0%
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 4 (AC)	20.5%
マネープールマザーファンド	1.1%

注. 比率は第136期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注. 比率は第136期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 純資産等

項目	第131期末 2022.9.12	第132期末 2022.10.11	第133期末 2022.11.10	第134期末 2022.12.12	第135期末 2023.1.10	第136期末 2023.2.10
純資産総額	4,359,942,651円	4,014,775,795円	3,778,449,277円	3,931,464,724円	3,956,012,215円	3,953,044,942円
受益権総口数	11,229,030,088口	11,149,100,796口	11,037,845,663口	11,022,899,096口	10,984,261,939口	10,946,609,488口
1万口当たり 基準価額	3,883円	3,601円	3,423円	3,567円	3,602円	3,611円

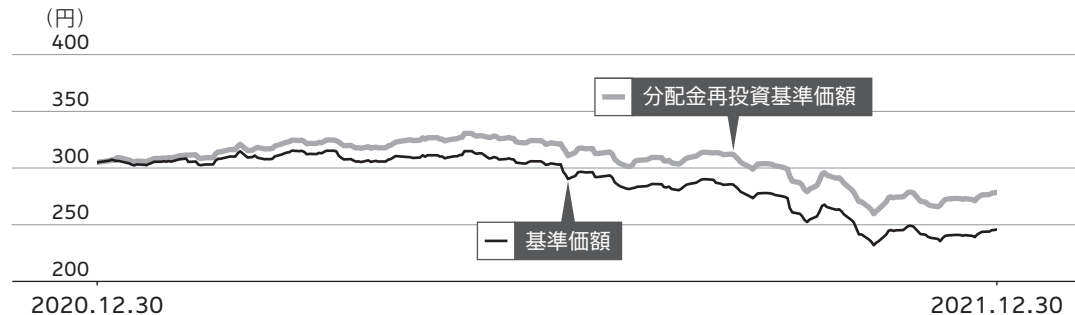
※ 当作成期間（第131期～第136期）中における追加設定元本額は184,957,852円、同解約元本額は629,704,734円です。

## ● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

#### 基準価額の推移（クラス4）



- 基準価額は、りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2020年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

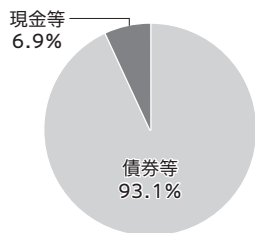
#### 1万口当たりの費用明細

当該期間（2021年1月1日～2021年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

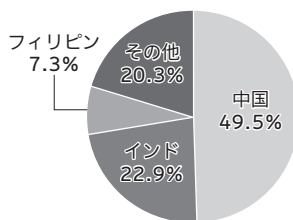
## 組入上位10銘柄

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率	
1 VEDANTA RESOURCES LIMITED 6.375% 30-JUL-2022	インド	6.375%	2022/7/30	3.9%	
2 HUARONG FINANCE 2017 CO. LTD. 4.0% PERP	中国	4.000%	永久債	3.8%	
3 POWERLONG REAL ESTATE HOLDINGS LTD. 7.125% 08-NOV-2022	中国	7.125%	2022/11/08	3.8%	
4 RIZAL COMMERCIAL BANKING CORPORATION 6.5% PERP	フィリピン	6.500%	永久債	3.0%	
5 SMC GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 6.5% PERP	フィリピン	6.500%	永久債	3.0%	
6 CHINA HONGQIAO GROUP LTD. 6.25% 08-JUN-2024	中国	6.250%	2024/6/8	2.9%	
7 TMBTHANACHART BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.9% PERP	タイ	4.900%	永久債	2.7%	
8 WANDA PROPERTIES OVERSEAS LTD. 7.25% 28-APR-2022	中国	7.250%	2022/4/28	2.7%	
9 ABJA INVESTMENT CO. PTE LTD. 5.45% 24-JAN-2028	インド	5.450%	2028/1/24	2.6%	
10 SEAZEN GROUP LTD. 6.45% 11-JUN-2022	中国	6.450%	2022/6/11	2.5%	
組入銘柄数		57銘柄			

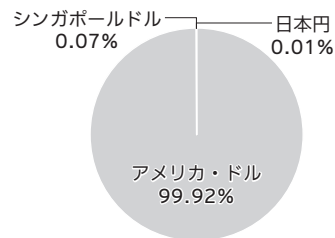
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2021年12月31日）現在のものです。

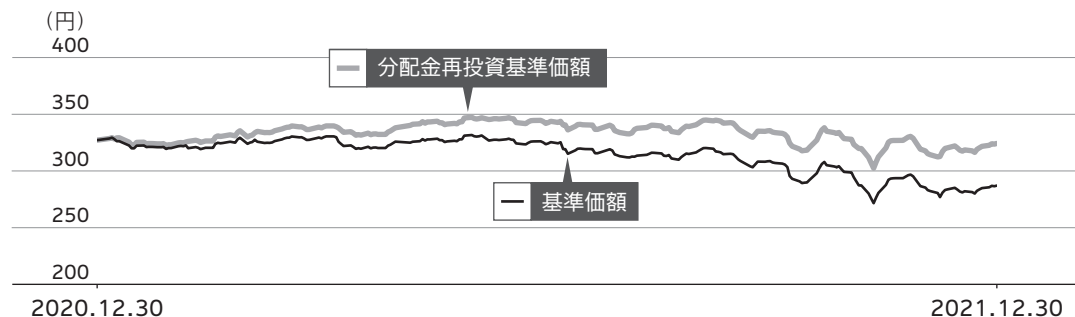
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注3. 日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを掲載しています。



## ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

### 基準価額の推移 (クラス4)



- 基準価額は、りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2020年12月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

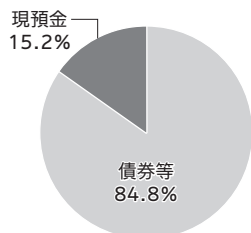
### 1万口当たりの費用明細

当該期間（2021年1月1日～2021年12月31日）の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

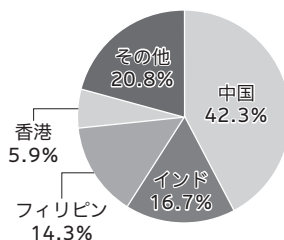
## 組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1	NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	4.9%
2	SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.7%
3	RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	3.5%
4	WANDA PROPERTIES OVERSEA 6.95% DUE 05/12/2022	中国	6.950%	2022/12/5	2.9%
5	YANLORD LAND HK CO LTD 6.8% DUE 27/02/2024	中国	6.800%	2024/2/27	2.8%
6	GEMDALE EVER PROSPERITY 4.95% DUE 26/07/2022	中国	4.950%	2022/7/26	2.8%
7	SMC GLOBAL POWER HLDGS 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	2.6%
8	DAH SING BANK LTD 5% DUE 15/01/2029	香港	5.000%	2029/1/15	2.4%
9	VLL INTERNATIONAL INC 7.25% DUE 20/07/2027	フィリピン	7.250%	2027/7/20	2.4%
10	PEAK RE BVI HOLDING LTD 5.35% DUE 31/12/2199	香港	5.350%	永久債	2.4%
	組入銘柄数	51銘柄			

## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2021年12月31日）現在のものです。

注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

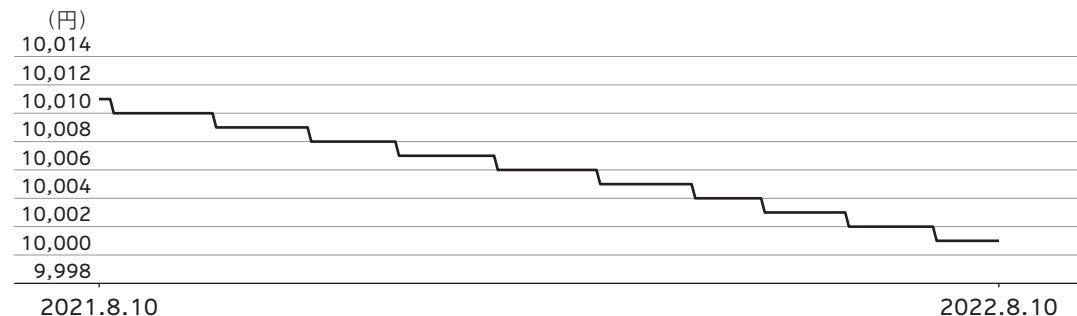
注3. ライオングローバルインベスターズが作成したデータを掲載しています。





## マネープールマザーファンド

### 基準価額の推移



### 1万口当たりの費用明細

項目	2021.8.11~2022.8.10	
	金額	比率
その他費用	0円	0.005%
(その他)	(0)	(0.005)
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>0.005</b>

期中の平均基準価額は10,005円です。

## 組入上位10銘柄

決算時における組入銘柄はありません。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年8月10日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 指数に関して

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース **検索**

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0921/price.html>

SOMPO アセットマネジメント | ENGLISH | SOMPO ホールディングス

文字サイズ 大 中 小

HOME > ファンド情報 > りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド > アジア通貨コース

ホーム | ファンド情報 | マーケット・ファンドレポート | 当社の資産運用 | 会社情報

追加投資/海外/債券

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース

日本経済新聞掲載名: アジハアジア

コースを選択してください

交	交付目論見書 (2022.11.10)	運交	交付運用報告書 (2022.08.10)	休	海外休業日 (申込不可日) 2023年
請	請求目論見書 (2022.11.10)	運全	運用報告書 (全体版) (2022.08.10)	i	分配金のお知らせ (2023.02.10)
		月	最新月次レポート (2023.01.31)		

① 交付運用報告書・運用報告書 (全体版) バックナンバー

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

### 交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

### 交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

### 海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

### 請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

### 運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

i

### 分配金のお知らせ

決算期の分配金の推移についてお知らせいたします。

月

### 最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。